





令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 愛媛県 】

学校名【四国中央市立土居東幼稚園】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V （複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	四国中央市立土居東幼稚園 園児34名（年少児7名、年中児9名、年長児18名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（運動会、作品展） ③ その他（愛媛FC アカデミーコーチによるスポーツ実践 サッカー） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	○ オリンピック・パラリンピックに関する話や情報を聞いたり、見たりしてオリンピック・パラリンピックにちなんだ活動や遊びを楽しみ、様々な国やスポーツに興味や関心をもつ。 ○ いろいろなスポーツがあることを知り、積極的に体を動かしたり、挑戦したりする楽しさを味わう。
5 取組内容	○ 事前指導 ・ 子どもたちが自分で見たり調べたりできるようにオリンピック・パラリンピックに関する本や世界地図、地球儀などを準備し、世界の国や国旗などに関心をもたせる。 ・ オリンピックやパラリンピックでは、どのような競技があるのかスポーツに関心をもてるように一緒に調べたり、知らせたりする。 ・ 運動会の競技で、使用する国旗やトーチなどを制作する。     国旗・トーチ制作

○ 運動会

- ・ 運動会では、子ども一人一人が選手として参加し、開会式の入場から聖火台点火式、競技等、オリンピック・パラリンピック大会をイメージした内容を取り入れた。保護者には、事前に園だより、クラスだよりで発信し、当日は、コロナ禍での制限はあったが、観覧してもらうことができた。



入場門



入場行進



聖火台点火式



国旗絵合わせゲーム



表彰台の上でポーズ



様々なスポーツ選手に変身



五輪マークくぐり



ダンベルあげ



運動会を終えて

○ 講師招聘

- ・ 愛媛FC アカデミーコーチの河原 和寿氏によるサッカー教室を行い全園児がコーチやスタッフとふれ合いながらサッカーに親しむことができた。



○ 作品展

- ・ 自分の興味ある国旗やシンボルマークを描いたり、様々なスポーツ選手になった顔写真入りの自分を作ったりした。
- ・ オリンピック・パラリンピックのイメージで競技を楽しめるように国旗やトーチ、聖火台、表彰台などを制作し、サッカー教室や作品展で展示して、雰囲気盛り上げた。
- ・ オリンピック・パラリンピックをイメージした作品を制作し、保育参観の日に展示し、保護者の人に観てもらった。



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事後学習 <ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピック・パラリンピック大会を知り、運動会や作品展に向けた活動を通して、様々な国やスポーツに興味関心をもつことができました。 ・ 愛媛FCアカデミーコーチの河原 和寿氏によるサッカー教室では、元現役選手による話、実演、実技指導により、サッカーの魅力とプロサッカー選手のすごさを実感することができた。また、実技指導では、自分もサッカーが上手になりたいという意欲を高めることができた。 ・ オリンピック・パラリンピック大会を通して競技や式典を見たり、感動を味わったりすることで、オリンピック・パラリンピックへの関心が高まった。更に作品にしたり、サッカー教室に参加したりすることで、体を動かすことを楽しむ姿が多く見られるようになってきている。
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が事前にオリンピック・パラリンピックに関することを調べ、オリンピック・パラリンピック精神やシンボルマークの意味など、絵本を利用して、子どもたちに分かりやすく説明した。 ○ 運動会では、聖火台点火式を開会式に取り入れ、グッズや音楽の演出、構成の工夫をし、一人一人がオリンピックのような気持ちで意欲的に参加できる内容にした。 ○ 作品展では、様々なスポーツ選手になった顔写真入りの自分を作り、国立競技場でオリンピック・パラリンピックに参加している自分を表現した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピック・パラリンピックを推進する活動を継続していくには、他校種との交流、行政の支援(選手の招聘)も必要である。 ○ 事業の取組だけで終わらず、幼児の運動遊びや体を動かす楽しさを感じられる活動を今後も継続していくために、教育課程の中にどのように位置づけていくのか考えていくことが必要である。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動会の競技や普段の運動遊びの中で、継続して取り組んでいく。 ○ 今後もいろいろなスポーツに触れる機会を作っていく。